

帰国研修員便り

【パレスチナ／ガザ地区の活動状況】



日本滞在中の東京・秋葉原でのターレックさん



近況便りのメール

- 1) 紹介者 : コースリーダー 末田 元
- 2) 現地便り : 帰国研修員 Mr. AMEN Tareq W.M.

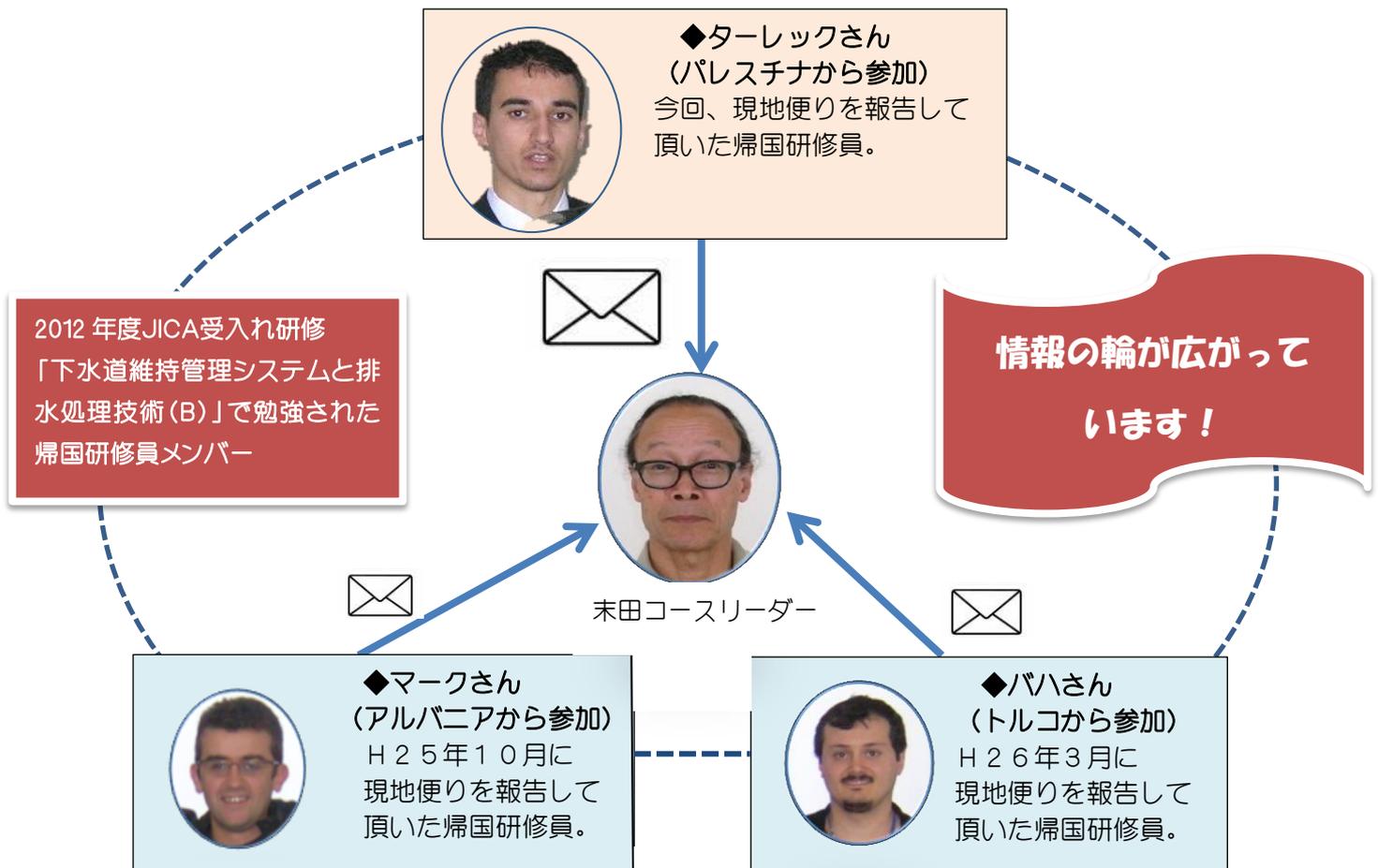
2014年9月29日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

～JICA技術研修を終了し、母国(パレスチナ/ガザ地区)で 下水道関係で活躍されているターレックさんを紹介します～

今回、ご紹介します帰国研修員便りは、パレスチナ/ガザ地区から参加された Mr.AMEN Tareq W.M. (通称: ターレックさん)の近況報告です。同じ研修コースのグループであった前回報告のマークさん(アルバニア)とバハさん(トルコ)に続き、今回は第三弾としてターレックさんをご紹介します。研修コースを担当された末田コースリーダーよりターレックさんの現地情報を紹介して頂きました。

1. 今回便りのあった帰国研修員



2. ターレックさん (Mr. AMEN Tareq W.M.) の紹介

来日時の彼の仕事は、ガザ地区の中央下水処理場プロジェクトの設計協力とその実施を担当していました。プロジェクトの現場に足を運び、事業の管理監督アドバイスをを行い、事業がうまく進行しているかなどの企業指導を行っています。

下水道技術分野の専門家が少ないこの地区からの参加でした。したがって、下水処理の方法、計画や設計の方法、維持管理方法、工場排水の処理方法など下水道に関するあらゆることを勉強しようとの抱負を持っての参加でした。研修員9名中下から2番目に若い研修員でした。

3. JICA研修時のターレックさん



末田コースリーダー

ジョブレポート発表会の時、パワーポイントスライドの初めで、パレスティナの国土がどんどん狭められている状況が示されました。国土問題の大変さを実感させられました。そのような大変な国情の中、下水道事業は日本の援助で大きな下水処理場を持つに至っています。

研修員の中には、下水処理場を持っていない国もある中でパレスティナの頑張りに目を見張りました。今後も、さらに下水処理場の新規プロジェクトを進めていくのが自分らの役目だと認識しており、日本の下水処理と自国との違いなどを十分勉強したようでした。下水処理場の基本計画など大きな事項から、「マンホールを開けるのは、どのような道具を使うのか？」などの質問を投げかけるなど実務に関する小さなことまでも関心を持って研修に臨んでくれました。

研修最後のアクションプランでは、「ガザ中央下水道プロジェクト（下水処理場）の最終設計の最新化」というテーマで発表し、日本で学んだ処理場技術を自国のそれに応用しようという内容を披露しました。研修期間中は、私と個人的に話す機会はあまりありませんでしたが、今回メールをもらい、修士課程を終えたこと、博士課程にも挑戦したいことなどが書かれており非常に勉強熱心な青年であったのだと改めて感動しました。

国情は非常に厳しい状況ですが、今後のパレスティナの下水道事業発展のため尽力してほしいと願っています。

4. ターレックさんからの近況便り



近況のターレックさん

(研修参加のため) 日本を訪れる機会を与えて下さいました末田コースリーダー、そして、日本の皆様並びに日本政府に心より感謝申し上げます。特に、今回の研修で大変お世話になりました JICA 関係者、コーディネーター、K I T A には厚く御礼申し上げます。

私達は、今もイスラエル軍による占領に苦しんでいます。ガザ地区の人々はイスラエル軍による包囲攻撃を受けており、また、占領によって、全ての都市機能が麻痺しています。

2014年7月7日から8月26日にかけてイスラエル軍がガザ地区に軍事攻撃を行いました。国連人道問題調整事務所の報告によると、7月と8月だけで2,101人のパレスチナ人が殺され、更に、何十万もの民間人が住居を完全に破壊されてホームレスになっているとのことです。

現在のように状況が悪化する前からガザ地区では、水と下水に関して困難な状況に直面していましたが、ガザ侵攻中は、電気や燃料が不足し、また、多くの施設に近づくことができなかったため、公共サービスが更に阻害されました。水道設備の損壊により約50万人の人々が、また下水処理場やポンプ場の損壊により100万人の人々が直に影響を受けました。

私個人については、幸運なことに、2017年に建設開始予定の18万(m³/日)規模のガザ中央下水処理場の設計図を修正する技術チームの一員として働いています。ガザ侵攻中は、水関連事業の緊急委員会に所属していましたが、現在は地方自治庁水環境部に戻って仕事をしています。

尚、私は、6月末に土木工学の修士課程を修了しましたが、次は、博士号取得のための奨学金を受ける機会が得られればと思っています。末田さんから私をご推薦頂けると大変ありがたく存じます。

最後に、末田さんも是非フェイスブック (Facebook) のアカウントを使って、研修員の皆と同時に情報交換してはいかがでしょうか。これからも連絡を取り合いましょう。

Eng. Tareq Waleed AMEN
 地方自治庁 水環境部 副部長
 修士号 (建設管理) 取得



5. ターレックさんのJICA受入れ研修実績

(1) JICA研修コース名

- ・和文 「下水道維持管理システムと排水処理技術(B)」
- ・英文 Operation and Maintenance of Sewerage System and Waste Water Treatment Technique (B)

(2) コースリーダー 末田 元

(3) 研修期間 2013年1月16日 ～ 2013年3月8日

(4) 参加した研修員 8ヶ国 9名

- ① アルバニア ② パレスチナ ③ トルコ ④ イラク
- ⑤ モーリシャス ⑥ アンゴラ ⑦ コロンビア ⑧ コスタリカ(2名)



H24年度JICA研修コース「下水道維持管理システムと排水処理技術(B)」閉講式での記念撮影



積雪の皿倉山にて



日明浄化センターでの水質分析演習

5. ターレックさんから届いたメールの原文



I would like to express my grateful thanks and appreciation to you and to the people of Japan and their respected government for given me opportunity to carry out that visit under your supervision. Special thanks for JICA; The coordinator and sponsor for this study tour.

Here we still suffering from the occupation. People here in Gaza still under the imposed siege, everything is paralyzed by the force of the occupation. From 7 July to 26 August 2014, the Israeli occupation army launched a military war in the Gaza Strip, UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs reported that 2,101 Palestinians have been killed in last July and August in addition hundreds of thousands of Civilians become homeless after their houses were completely demolished.

Gaza already faced a challenging situation in regards to water and wastewater prior to the escalation, and services were further hampered during the war, due to electricity and fuel shortages and the inaccessibility of many installations. Approximately half a million people were directly affected by damage to water facilities, and one million were affected due to damage to the wastewater plant and wastewater pumping stations.

Personally I was lucky where I have been one of technical team which work to update design of Gaza central sewerage treatment plant "Construction will begin in 2017" with capacity of 180,000 m3/day and during war I joined to emergency committee for water sector but now to returned to my work in water and environment department in the ministry of local government. At the end of June I finished the requirement to hold master degree in civil engineering and I hope to take chance to gain PhD scholarship, I should be grateful to you if you recommended me to this chance.

Finally I recommend you to use Facebook account to communicate with all of training course team in same time.

Keep in touch

Eng . Tareq Waleed Amen

Msc in Construction Management

Ministry of Local Government,

Water and Environment Department Deputy Manger



終了パーティーで盛り上がりました



ジョブレポート発表でのターレックさん



閉講式での修了書授与



下水道工事現場視察の研修員



水俣病慰霊碑の前で



東京都防災館での暴風雨体験



水環境館でのお遊び